

矢野の橋に(続)

～日常、はっきりした意識がなくて利用している橋を、すこし地理的に歴史的に考察してみましよう。矢野のまちがもっと親しいものになるかも知れません。～

- (1) 梅河橋
- (2) 天狗橋
- (3) 浜大橋
- (4) 大浜橋
- (5) 極楽橋
- (6) 神橋
- (7) 神田橋
- (8) 宮下橋
- (9) 横枕橋
- (10) 女蓮橋
- (11) 細越川橋
- (12) 大井橋

★矢野公民館だより 平成22年(2010年)5月号～平成23年(2011年)4月号の記事からの再掲

★(1)～(12)いずれも 文 発喜会 楠 精洲

(1) 梅河橋

梅河橋（昭和48年築）は、梅河ハイツ入口に架かる。梅河（うめかわ）は「埋め河（川）」の意。付近には滑ヶ谷・荒巻・荒川山など、崩壊（ほうかい）を表す名称がある。「埋め」を松竹梅にちなむ縁起のよい「梅」にかえた。

なお、「ウメカワ」は、古くから「メゴウ」と呼んできた。

なお、すぐ下手（しもて）に大井手の取水口がある。



(2) 天狗橋

「弁慶と天狗」（『矢野の昔ばなし』）にでてくる天狗橋にちなむ橋名（築・昭和48年）。峠山の「唐笠（からかさ）松」のいたずら好きの天狗が、弁慶にこらしめられる話である。橋のそばの看板は「矢野水系 絵下谷川 砂防指定地 土砂流危険溪流」。



写真 矢野東七丁目56番ブロック

(3) 浜大橋

昭和45年、大浜橋（国道31号線）の下（しも）手に浜大橋が架かり、荒神浜と住吉浜の往来に便利がよくなった。以前は、ぶらぶら橋といわれる板橋しかなかった。ところで「橋の中央部が少し下がっている」と云われているんだが。



写真 矢野西一丁目11番と17番を結ぶ

(4) 大浜橋

矢野地区内の国道31号線に3橋が架かる。「矢野3橋」とは、①矢野川の矢野川橋 ②宮下川の大浜橋 ③細越川（小田川）の細越川橋（大井）である。

大浜橋（築昭和13年）は荒神浜と住吉橋を太いパイプで結んだ。矢野で一番結構は橋標だ。銅（あか）で鑄（い）てある。



写真 矢野西一丁目2番と30番を結ぶ

(5) 極楽橋

ごくらく橋とは、末香臭い橋名。^{まつこうさい}(平成14年に大幅に拡幅) それもそのはず、昔は火葬場への筋道にあたり、「涙橋」であり「極楽橋」であった。

「西川坂往来筋 長4間 幅8歩 孫三郎橋」と、数少ない個人名の石橋であった。

『矢野の昔ばなし』には、坊主頭の大男が橋下から顔を出す話が載っている。



写真 矢野西五丁目②番と矢野西四丁目⑤番を結ぶ

(6) 神橋

著名な尾崎神社(社倉総鎮守・郷社・県社)の神橋(築昭和15年)。古くは「氏神へ渡橋」。神橋(石造・太鼓橋)・標柱(しめばしら)・大鳥居・石段と並ぶ、表参道の荘厳(お膳立て)は立派である。

神橋(しんばし)は、往来の車の難を避けて川の上から後退している。



写真 矢野西五丁目⑤番と⑥番を結ぶ

(7)神田橋

神田橋（築昭和40年）の神田（かんだ）は神田（しんでん）。その収穫で祭事・造営などの費用をまかなうものとして、神社に付属している田のこと。

尾崎神社の神田のほかにも、姫宮社の「神田」、愛宕社【権現さん】の「権現免」などがある。



写真 矢野西五丁目⑰番と⑱番を結ぶ

(8)宮下橋

宮下（みやげ）は「宮の下」、「矢野八幡宮の下」の意。尾崎神社にちなむ名称は、表に宮下町内会、宮下川が、裏に八幡（やわた）町内会、八幡（はちまん）水がある。

宮下橋（築昭和40年）は、池田の峠（たお）、小越火葬場へ通じるソーレン（葬式）道にあっていた。



写真 矢野西五丁目18番と26番を結ぶ

(9)横枕橋

横枕橋（築昭和38年）は「矢野のあけぼの」を告げる。矢野文化発祥（はっしょう）の地、横枕遺跡（縄文文化時代）にちなむ橋名。今は、矢野小学校一矢野幼稚園、矢野福祉センターを結ぶ、文教地区となっている。

横枕（よこまくら）は、土地開発にかかわる地名で、開墾（かいこん）地の大地割りにはみだした部分をいう。



写真 矢野西一丁目13番と14番を結ぶ

(10)女蓮橋

女蓮寺にちなむ橋名（築昭和42年）。女蓮山に尼寺の伝承があり、寄せ墓が残る。女蓮山の大部分は宅地造成工事で無くなった。近年、女蓮山妙信寺（矢野南1-13）が建った。女蓮（によれん）は屋敷の意味をもつ地名で、矢野城下の山麓（さんろく）には土居（どい）高下（こうげ）の地名が残る。高下谷は今で言う「住宅地」といった所。



写真 矢野西六丁目13番と22番を結ぶ

(11)細越川橋

国道 31 号線（坂往来筋・大井）の細越川（または小田川）にちなむ橋名。

（矢野西四丁目 31 番）

細越（ほそごえ）は交通にかかわる地名で、坂への山越えの意。海岸に沿う小道に対する、本道の役をしていた。橋に付設されているのは、旧海軍の送水管である。なお、平成の大新開（矢野新町）に通じる運河に大井新開が架かっている。



写真 矢野西六丁目 1 3 番と 2 2 番を結ぶ

(12)大井橋

「大井 3 橋」（江の口橋・大井橋・細越川橋）のうちの一つ。大井・江の口・赤石は海岸を表す地名で、一帯は新開地である。

坂越えの峠近くに、タタラが迫・タタラガサコノ畝、ホリ出の地名が残る。

川水が赤さびていて、中国地方の山地で行われていた和鉄精錬法（たたら吹き）が想定されていて、興味深い。

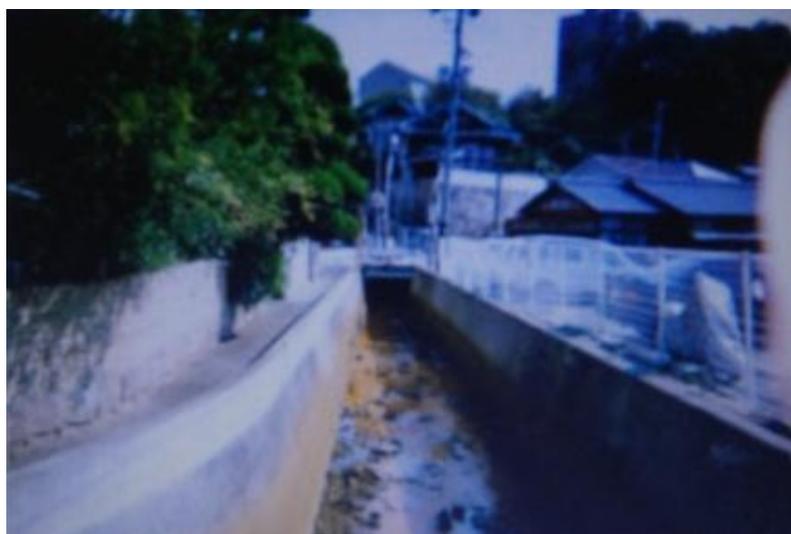


写真 矢野西四丁目 1 3 - 1 5